

株式会社東京精密

2019年1月16日

株式会社富士通テレコムネットワークス福島の株式取得について

二次電池性能評価用の充放電試験装置の開発・製造を開始

株式譲渡契約を1月16日に締結

当社は、2019年1月16日に充放電試験装置の開発・製造・販売・サービスを行う株式会社富士通テレコムネットワークス福島（本社：福島県石川郡）の株式を取得する株式譲渡契約を富士通テレコムネットワークス株式会社と締結いたしました。

富士通テレコムネットワークス福島は、二次電池の研究・開発・製造・検査に必要な性能評価システムの開発・製造・販売・評価代行・評価業務効率化支援の各領域で長い実績があり、電気的特性を計測する分野での豊富なノウハウを有しております。当社は、自動車・自動車部品メーカーなど日本のモノづくりを支える皆さまとともに、長さを計測する精密計測機器を開発・製造して参りました。

今回電気計測をラインナップに加えることで、より幅広い製品・サービスでお客様の電動化・自動運転化などの計測ニーズにお応えし、本格的な産業・民需利用を迎える大容量蓄電池の安定的な検査体制のご提供が可能となる見込みです。富士通テレコムネットワークス福島の製品力・ノウハウとACCRETECH ネットワークを活用し、安全・安心・環境に貢献する高品質な製品とサービスを国内外へ迅速にお届けできるようグループ一丸となって努めてまいります。

なお、株式譲渡にかかる完了日は下記を予定しております。

第1回：2019年2月1日（予定 80%）

第2回：2021年2月1日（予定 20%、合計100%）



東京精密代表取締役社長 吉田均 富士通テレコムネットワークス福島 代表取締役社長鈴木誠一

東京精密代表取締役社長 吉田均より

今後の本格的なモビリティの電動化やインフラの刷新において大容量の充電電池が果たす役割は大きく、その品質や劣化評価を確かにするには安全な社会基盤の確立に不可欠です。富士通テレコムネットワークス福島は二次電池の産業利用の黎明期を長く支えてこられ、そのノウハウを一層活かして頂くために今回のお話に至りました。

当社は、ものづくりの原点として「測れないものは作れない」の考え方の下、寸法計測を祖業として創業来70年にわたり事業を展開して参りました。この度、電気計測という新たな「測る」領域に踏み出しますことは、時代の要請に応じた業容拡大であり、当社グループのお客様へより幅広い製品群と手厚いサポートをご提供できることと確信しております。

富士通テレコムネットワークス福島がこれまで培ってこられた電気計測の貴重な知見を大切に引き継ぎ、お客様からのお声に敏感に応じていくことで、当社のモットーである「Win-Win の仕事で世界 No.1 の製品をつくろう」を皆様と実現して参りたいと思います。

富士通テレコムネットワークス福島代表取締役社長 鈴木誠一より

当社は電源技術をベースに、二次電池や燃料電池の研究・開発・製造など、お客様のさまざまなシーンに合わせた高性能充放電試験装置や評価サービスを提供してまいりました。

電気エネルギーを活用する上での大きな課題は「電気エネルギーを蓄え、必要な時に、必要な所で、必要な量に使える」ことです。昨今、この課題を解決するために、ニッケル水素電池やリチウム・イオン電池などさまざまな二次電池や燃料電池の進化が活発化しています。

この度 ACCRETECH グループを有する東京精密と連携してビジネスを遂行できる体制ができたことにより、従来の技術、サービスに加え、東京精密とのシナジーを最大限に活かし、日本をはじめとする世界中のお客様へより良い商品の提供、お客様視点でのサービスに努めてまいります。

ACCRETECH グループの行動指針である「世界中のすぐれた技術、知恵、情報を融合して世界 NO1 の商品を作り出し皆様と共に大きく成長していく」という企業理念の下、進化し続ける二次電池、燃料電池分野において、お客様にとってかけがえのないパートナーとなり、低炭素で豊かな社会を実現してまいります。

【会社概要】

(1)	名 称	株式会社富士通テレコムネットワークス福島
(2)	所 在 地	福島県石川郡古殿町松川大作50
(3)	代表者の役職・氏名	代表取締役社長 鈴木 誠一
(4)	事 業 内 容	蓄電池評価システムの企画・開発、製造販売・保守 パワーエレクトロニクス機器製造
(5)	資 本 金	100 百万円
(6)	設 立 年 月 日	1999 年（平成 11 年）10 月 1 日
(7)	大株主及び持株比率	富士通テレコムネットワークス株式会社（100%）

問合せ先：株式会社東京精密 広報室

TEL：042-642-1701（代表）